

**公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー**  
**所管事務調査説明資料**

目 次

**第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要**

1	名称, 設立年月日, 所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	基本財産	1
5	組織及び役職員数	2
6	役員及び評議員名簿	3

**第2章 平成26年度決算状況**

1	事業報告	4
2	貸借対象表	10
3	正味財産増減計算書	11
4	財務諸表に対する注記	15
5	財産目録	17
6	収支計算書	18
7	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	18
8	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	18

**第3章 平成27年度事業計画**

1	事業計画	19
2	収支予算書	24

平成27年 7月22日

経済観光文化局

# 第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

## 1 名称, 設立年月日, 所在地

- (1) 名 称 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
- (2) 設立年月日 昭和62年 9月 1日
  - ※昭和22年11月 福岡市観光協会設立
  - 昭和40年12月 (社) 福岡市観光協会 (法人化)
  - 昭和62年 9月 (財) 福岡コンベンションビューロー設立
  - 平成 6年 4月 (社) 福岡市観光協会と (財) 福岡コンベンションビューロー合併
  - (財) 福岡観光コンベンションビューロー へ
  - 平成24年 4月 公益財団法人に移行
- (3) 所 在 地 福岡市中央区天神一丁目11番17号

## 2 設立目的

福岡市及び周辺地域との緊密な連携のもとに、観光客の誘致、コンベンション（国際・国内の各種会議、展示会等をいう。）の誘致等を行うことにより、福岡市における観光及びコンベンションの振興を図り、もって国際、国内観光の振興による人的交流の促進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

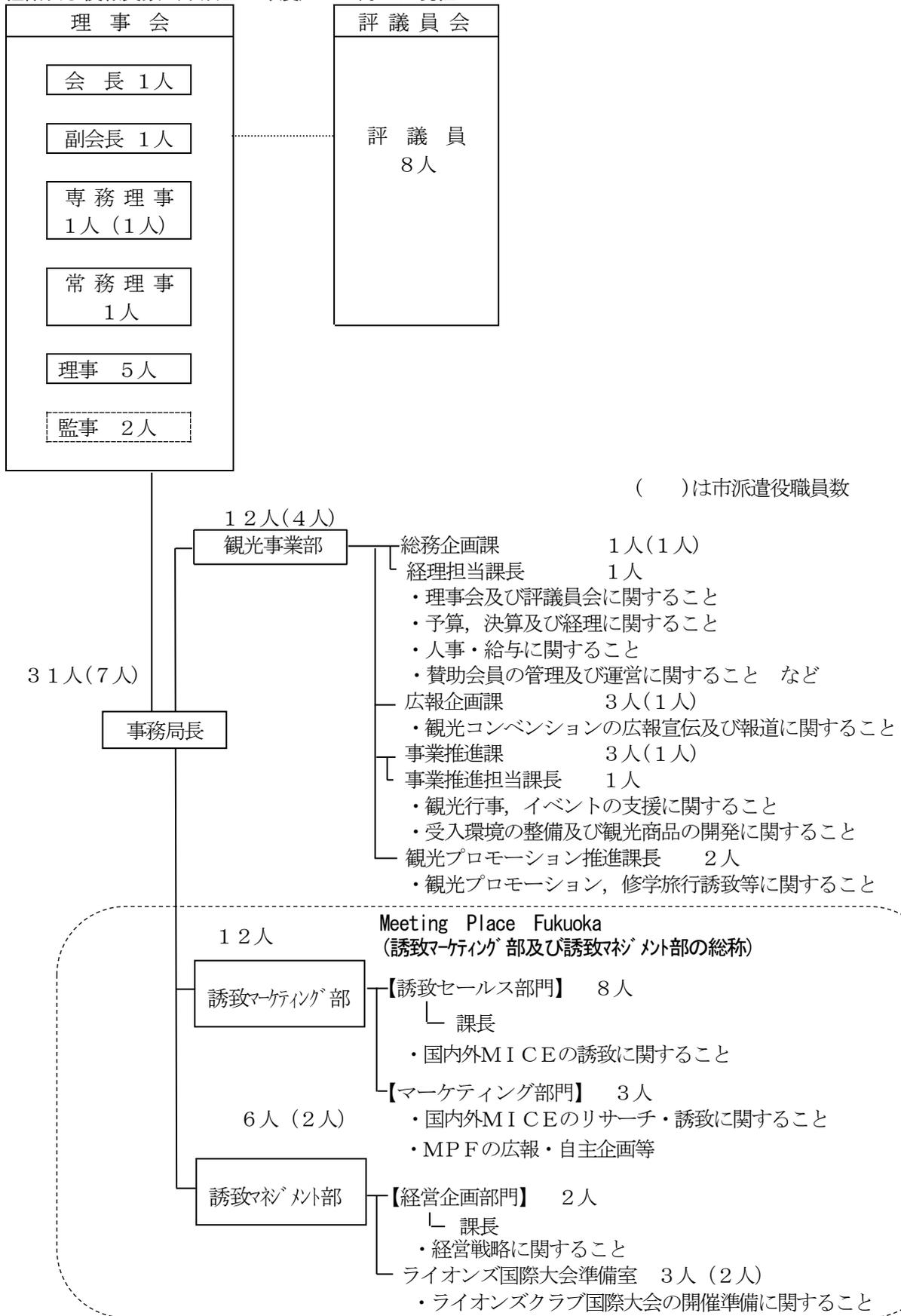
## 3 事業内容

- (1) 観光客の誘致及び受入
- (2) コンベンションの誘致及び主催者に対する支援
- (3) 観光・コンベンション都市福岡の広報及び宣伝
- (4) 観光及びコンベンションの調査、企画及び開発
- (5) 観光及びコンベンションに関する情報の収集及び提供
- (6) 福岡市からの委託による受託事業の管理運営
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4 基本財産

796,000千円（福岡市 755,000千円 94.8%）

5 組織及び役職員数（平成27年度）※7月1日現在



○事務局職員の内訳

福岡市からの派遣職員	7人
民間企業からの派遣職員	13人
固有職員	11人
計	31人

6 役員及び評議員名簿（平成27年7月1日現在）

○役員

役職名	氏名	就任年月日	備考
会長 (代表理事)	末吉紀雄	平成24年4月1日	福岡商工会議所会頭
副会長 (代表理事)	中尾和毅	平成24年4月1日	西日本鉄道株式会社代表取締役副社長
専務理事 (業務執行理事)	藤本道雄	平成26年4月1日	(常勤)
常務理事 (業務執行理事)	横山達男	平成26年7月1日	(常勤)
理事	石橋和幸	平成26年7月1日	株式会社九電工取締役常務執行役員
理事	金子新	平成26年7月1日	福岡市ホテル旅館協会会長
理事	重光知明	平成26年4月1日	福岡市経済観光文化局長
理事	待井弘道	平成27年6月16日	西部ガス株式会社常務執行役員
理事	中津功	平成27年6月16日	一般社団法人日本旅行業協会九州支部長
監事	荒木英二	平成25年5月1日	株式会社福岡銀行取締役常務執行役員
監事	石原隆	平成26年7月1日	株式会社西日本シティ銀行執行役員地域振興部長

○評議員

役職名	氏名	就任年月日	備考
評議員	飯田光夫	平成26年4月1日	一般財団法人福岡コンベンションセンター専務理事
評議員	橋本上	平成27年7月1日	九州電力株式会社地域共生本部部長
評議員	千相哲	平成24年4月1日	九州産業大学商学部長
評議員	高橋誠	平成24年8月10日	一般社団法人九州観光推進機構事業本部部長
評議員	津田信太郎	平成27年7月1日	福岡市議会第3委員会委員長
評議員	中園政直	平成25年5月1日	福岡市副市長
評議員	中村仁彦	平成24年4月18日	福岡商工会議所専務理事
評議員	古宮洋二	平成26年7月1日	九州旅客鉄道株式会社取締役総務部長

## 第2章 平成26年度決算状況

### 1 事業報告

#### (1) 概要

本財団は、観光・コンベンションの振興を図るため、国内外に向け様々な誘致活動、PR活動を展開しており、国際化の促進や福岡市のイメージアップなど大きな効果をもたらしてきた。これらの活動により、福岡市の国際会議開催件数は、年々増加傾向にあり、日本政府観光局（JNTO）の発表では、平成25年の都市別国際会議開催件数が、過去最高の253件と5年連続全国2位となった。

また、当財団の活動強化のため、平成26年度に誘致部を「Meeting Place Fukuoka」(MPF)として機能強化し、MICEの誘致・支援体制の大幅な拡充のもと、様々な事業を実施した。

\*MICEとは、企業ミーティング、インセンティブツアー（企業の報奨旅行）、コンベンション（学会や大会）、エキシビション(展示会)・イベントの頭文字をとった略称

#### (2) 主要事業

##### ア 観光客の誘致

円安等の好材料に加え、直行便が就航している主要都市へのプロモーションが功を奏し、平成26年の福岡空港・博多港からの外国人入国者数は、初めて120万人を超えた。

国内においては、大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映を機に各種PRを実施するなど、観光客増へ向けた取組を推進するとともに、香川県、徳島県、鹿児島県、宮崎県において、旅行者及び教育関係者に対する修学旅行等の誘致活動を行った。

また、海外においては、韓国やタイなど東アジア・東南アジアからの観光客誘致につなげるため、釜山国際観光展やタイ国際観光展へ出展するなど、集客交流の拡大に努めた。

さらに、外国クルーズ客船については、寄港回数が過去最高の99回を記録し、全国1位となるなか、クルーズ乗船客が福岡及び近郊都市で快適な旅を体験できるよう、観光案内等の充実を図るとともに、和太鼓やダンスなどによる歓迎演出を行った。

##### 【実施事業】

##### (ア) 姉妹協会等との交流

- ・シンガポール政府観光局との姉妹提携20周年事業

〔8/25～30 シンガポール・マレーシア〕

##### (イ) 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業

- ・実務者会議の開催

〔5/1～2 釜山広域市〕

- ・共同プロモーションイベントの実施

〔7/18～19 大阪市, 11/26 台北市〕

(ウ) 福岡観光プロモーション協議会事業

- ・国内誘致宣伝事業（修学旅行の誘致等）

〔7/9～11 香川県・徳島県, 12/4～/5 鹿児島県・宮崎県, 2/4～6 関西・四国〕

〔九州7県合同修学旅行説明会・相談会（対象：中学校・高校・旅行代理店・航空会社）：8/1 広島市, 8/21 大阪市〕

- ・海外誘致宣伝事業

〔旅行会社訪問団派遣：11/26～28 台北市〕

〔釜山国際観光展：9/10～16 来客者101,678人〕

〔タイ国際観光展：2/24～3/2 来客者約43万人〕

(エ) 博多祇園山笠宣伝隊派遣事業〔6/3 市内宣伝, 6/5～6 市外宣伝(盛岡市・仙台市)〕

(オ) 外国クルーズ客船受入事業〔99回受入〕

- ・クルーズ客船用ウェルカムゲート運営

- ・クルーズ客船用観光マップ等製作

〔中国語（簡体字）観光マップ 15万部製作・配布, うちわ 22万部製作・配布〕

- ・クルーズ客船受入及び人材サポート事業

〔ウェルカムサポーター活動実績：延べ565人〕

- ・クルーズ客船寄港歓迎演出

〔実施回数：30回〕

- ・多言語ガイド育成研修事業

(カ) 他団体との連携

- ・観光関係団体との連携

- ・小規模イベントスペース管理

イ MICEの誘致及び支援

平成26年度は、「国際材料研究学会連合ーアジア国際会議2014」, 「APRICOT-APAN2015」等の国際会議の他, 「第87回日本消化器内視鏡学会総会」, 「第55回日本神経学会学術大会」等の国内医学系学術会議, 「第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」等の大型コンベンションが次々と開催された。

国際コンベンションの誘致に関しては, 世界約1,000のMICE関係者が加盟する国際会議協会（ICCA）が持つ10,000件を超えるデータベースの分析により, 福岡へ誘致の可能性がある案件を抽出し, 直接の誘致活動を行うとともに, 4つの世界的なコンベンション見本市・商談会に出展し, 誘致活動及び福岡のPRを行った。また, 出展の機会を捉え, 近隣国・地域のキーパーソン等を訪問し, 誘致活動を行った。

国内コンベンションにおいては、大規模案件（2～3千人以上）を中心に開催動向や決定方法等を分析し、地元大学へのアプローチ等福岡への定期的な開催実現に向けた誘致活動を強化するとともに、国内最大のMICE商談会である国際ミーティング・エキスポ（IME）出展や首都圏のキーパーソン等に対し福岡開催のための営業活動を行い、「第77回日本臨床外科学会総会」、「第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会」等、医学系大型コンベンションなどの誘致に成功した。

また、新天町メルヘン広場において、モデルイベントを開催するなどユニークベニュー（レセプション等の開催ができる文化施設・公的空間）の開発に取り組むとともに、市内での宿泊を伴う一定規模以上のインセンティブツアーに対しては、空港でのお出迎えや歓迎挨拶、新たに歓迎メッセージ付き絵葉書セットの提供を行うなど支援の充実を図った。

さらに、2016年6月に開催されるライオンズクラブ国際大会については、地元関係機関やライオンズクラブ国際協会との協議を行うなど、開催に向けた準備を推進した。

### 【実施事業】

#### (ア) コンベンション誘致活動

	平成26年度	平成25年度
国内コンベンション	126件	146件
国際コンベンション	43件	23件

- ・ 大学、団体等への誘致活動
- ・ 国際・国内コンベンション誘致活動
- ・ 国際ミーティング・エキスポ（IME）出展  
〔12/9～10 東京国際フォーラム，商談件数：158件〕
- ・ 4大国際見本市・商談会出展  
〔IMEX 5/15～24 ドイツ，IMEX 10/12～19 アメリカ，EIBTM 11/16～23 スペイン，ICCAアジア太平洋地区商談会 9/21～28 オーストラリア〕  
\* IMEX(アイメックス)，EIBTM(イーアビーティーエム)は商談会の名称

#### (イ) コンベンション支援活動

- ・ 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成

	平成26年度	平成25年度
国内コンベンション	10件	12件
国際コンベンション	17件	16件

- ・ コンベンションサポート制度〔サポート件数：27団体，延べ44件〕
- ・ 大規模コンベンションへの郷土芸能の提供，歓迎看板の設置及び臨時案内所の設置
- ・ 観光ガイドブック，飲食店・おみやげガイドブック等の提供
- ・ コンベンションバッグの販売

#### (ウ) 他団体との連携

(エ) インセンティブツアーの誘致

- ・インセンティブツアー(企業等が成績優秀社員を海外に招待する報奨旅行)誘致活動  
〔誘致件数：韓国2件 402名，タイ10件 388名，台湾11件 7,627名など〕
- ・インセンティブツアー歓迎事業〔空港出迎え：39件，歓迎挨拶：11件，ガイドブック等の提供：19件，郷土芸能提供：5件〕

(オ) ライオンズクラブ国際大会準備

ウ 福岡の魅力向上

来福者のニーズの把握に努めるとともに，観光案内業務のスキルアップを図りながら，来福者が快適に過ごせる受入環境の整備に努めた。また，福岡市の有する都市観光の魅力や歴史・文化・祭りなどの観光資源を十分に活用した魅力づくりを推進した。

さらに，福岡市民，学生，都市圏で学ぶ留学生・就学生等で構成するウェルカムサポーター制度を運営し，外国クルーズ客船受入対応，コンベンション支援，イベント対応等において，多言語による案内業務など，福岡市を訪れる国内外の観光客などに対して，サービスの向上と市民と一体となったおもてなしを行った。

また，どんたく，山笠などの祭りの振興，観光案内ボランティアの運営・管理を行うとともに，福岡検定の実施，体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」の事務局運営等）などを行った。

【実施事業】

(ア) 観光情報の総合マネジメント

- ・観光ガイドブックの製作・発行  
〔日本語，中国語（簡体字・繁体字），韓国語，英語 計35万部〕
- ・ホームページの管理運営

(イ) 観光案内機能の充実強化

- ・福岡市観光案内ボランティアの運営・管理  
〔登録数：83名（平成26年度末現在）〕
- ・まち歩きコースの開発，案内パンフレットの製作  
〔「黒田家ゆかりの地 まち歩き」コースの拡充，「福岡・博多“深”発見 まち歩き」コースの開発〕
- ・観光サービス業従事者向けスキルアップ研修の企画・運営  
〔開催回数 3回，延べ参加人数 237名〕

(ウ) 福岡観光マップ「トマール・フクオカ」の発行〔年6回発行，各60,000部〕

(エ) ウェルカムサポーターの運営〔登録数：113名（平成26年度末現在，留学生等の外国人26名，日本人87名），活動実績：延べ690人〕

(オ) 観光案内所ネットワークミーティングの実施〔3回実施，参加団体 延べ14団体〕

(カ) 博多どんたくの共催（臨時観光案内所の運営・管理）

(キ) 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催

(ク) 福岡検定の実施

[初級受験者 706人, 合格者 446人] [中級受験者 319人, 合格者 197人]

(ケ) 各行事助成金 (ふくこいアジア祭り等)

(コ) 福岡おもてなし委員会の運営

(カ) 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営

(シ) 体験型 (着地型) 観光のプロモーション (「福たび」キャンペーンの事務局運営等)

[パンフレット (福たび) 発行: 4回, 体験型まち歩き等: ①スポット・イベント型  
129プログラム, ②定期・通年型 31プログラム]

## エ 広報・宣伝

福岡の観光及びコンベンションに関する最新の情報を提供するため、ホームページの管理運営や広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行などを行った。

### 【実施事業】

(ア) ホームページの管理・運営 (再掲)

(イ) 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行

## オ 組織の総合力の強化

会員間相互や本財団との情報交換及び会員の意見を事業運営に反映させるための交流会を実施したほか、福岡市で開催される会議・展示会などの情報を網羅した「コンベンションスケジュール」の作成及び提供を行った。

### 【実施事業】

(ア) 賛助会員交流会の実施 [11/18 西鉄グランドホテル, 105団体, 180名参加]

(イ) 「コンベンションスケジュール」の作成及び提供

## カ 福岡市からの負担金事業 (再掲)

### 【実施事業】

(ア) 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成

(イ) コンベンション誘致活動

(ウ) コンベンションサポート事業

(エ) インセンティブツアー誘致活動

(オ) 外国クルーズ客船受入事業

(カ) コンベンションの支援 (国際コンベンション支援語学ボランティア事業)

(キ) 観光案内機能の充実強化

・福岡市観光案内ボランティアの運営・管理

・まち歩きコースの開発, 案内パンフレットの製作

・観光サービス業従事者向けスキルアップ研修の企画・運営

(ク) 観光案内所の管理・運営及びネットワーク化

- (ケ) 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営
- (コ) 体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」キャンペーンの事務局運営等）
- (ク) ライオンズクラブ国際大会準備

キ 自主事業（主なものを再掲）

【実施事業】

- (ア) 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業
- (イ) 福岡観光プロモーション協議会事業
- (ウ) 観光案内所のネットワーク化
- (エ) イベント情報付観光ガイドブック「トマール・フクオカ」の発行
- (オ) 博多どんたくの共催
- (カ) 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催
- (キ) 福岡おもてなし委員会の運営
- (ク) 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行
- (ケ) 賛助会員交流会の開催

ク 自主財源の内訳

（単位：円）

科 目	平成26年度 予 算 額(A)	平成26年度 決 算 額(B)	増 減 (B)－(A)
基本財産運用収入	11,526,000	12,126,126	600,126
会 費 収 入	72,500,000	73,685,000	1,185,000
事 業 収 入	2,649,000	4,492,934	1,843,934
広告料収入	1,621,000	3,331,145	1,710,145
事 業 収 入	250,000	190,254	△ 59,746
販 売 収 入	778,000	971,535	193,535
計	86,675,000	90,304,060	3,629,060

(3) 会 議

会 議 名	日 時 ・ 場 所	内 容
平成26年度 第1回理事会	平成26年5月30日 ソラリア西鉄ホテル	平成25年度事業報告 平成25年度収支決算 評議員会の開催
平成26年度 第1回評議員会	平成26年6月17日 ソラリア西鉄ホテル	平成25年度事業報告 平成25年度収支決算
平成26年度 第2回理事会	平成27年3月30日 ソラリア西鉄ホテル	平成27年度事業計画案 平成27年度収支予算案

(4) 出捐金・賛助会費状況（平成27年3月31日現在）

出 捐 金	796,000千円	60団体・企業
賛助会費	73,685千円	611団体・企業

2 貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	92,723,664	45,229,950	47,493,714
未収金	4,440,127	28,321,814	△ 23,881,687
前払金	1,487,644	36,750	1,450,894
商貯蔵品	350,079	210,780	139,299
仮払金	44,598	50,350	△ 5,752
	99,878	0	99,878
<b>流動資産合計</b>	<b>99,145,990</b>	<b>73,849,644</b>	<b>25,296,346</b>
<b>2 固定資産</b>			
(1)基本財産			
定期預金	29,618,602	29,618,602	0
普通預金	453,492	361,617	91,875
投資有価証券	765,927,906	766,019,781	△ 91,875
<b>基本財産合計</b>	<b>796,000,000</b>	<b>796,000,000</b>	<b>0</b>
(2)特定資産			
退職給付引当資産	6,616,680	6,110,210	506,470
<b>特定資産合計</b>	<b>6,616,680</b>	<b>6,110,210</b>	<b>506,470</b>
(3)その他固定資産			
建物附属設備	2,791,403	784,994	2,006,409
什器備品	1,147,290	738,799	408,491
ソフトウェア	4,231,601	618,800	3,612,801
電話加入権	907,603	907,603	0
<b>その他固定資産合計</b>	<b>9,077,897</b>	<b>3,050,196</b>	<b>6,027,701</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>811,694,577</b>	<b>805,160,406</b>	<b>6,534,171</b>
<b>資産合計</b>	<b>910,840,567</b>	<b>879,010,050</b>	<b>31,830,517</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	75,171,369	43,686,130	31,485,239
前受金	40,000	256,000	△ 216,000
預り金	659,804	742,158	△ 82,354
賞与引当金	4,879,832	3,488,336	1,391,496
<b>流動負債合計</b>	<b>80,751,005</b>	<b>48,172,624</b>	<b>32,578,381</b>
<b>2 固定負債</b>			
退職給付引当金	6,616,680	6,110,210	506,470
<b>固定負債合計</b>	<b>6,616,680</b>	<b>6,110,210</b>	<b>506,470</b>
<b>負債合計</b>	<b>87,367,685</b>	<b>54,282,834</b>	<b>33,084,851</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
福岡市寄付金	755,000,000	755,000,000	0
福岡県寄付金	2,000,000	2,000,000	0
民間寄付金	39,000,000	39,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>796,000,000</b>	<b>796,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 796,000,000 )	( 796,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>2 一般正味財産</b>	<b>27,472,882</b>	<b>28,727,216</b>	<b>△ 1,254,334</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>正味財産合計</b>	<b>823,472,882</b>	<b>824,727,216</b>	<b>△ 1,254,334</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>910,840,567</b>	<b>879,010,050</b>	<b>31,830,517</b>

### 3 正味財産増減計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

#### (1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	12,126,126	11,248,182	877,944
② 受取会費			
受取賛助会員会費	73,685,000	26,190,000	47,495,000
③ 事業収益			
広告料収益	3,331,145	919,996	2,411,149
事業収益	190,254	294,572	△ 104,318
販売収益	971,535	1,241,444	△ 269,909
④ 受取負担金			
受取負担金	261,088,231	142,064,963	119,023,268
⑤ 受託事業収益			
受託事業収益	610,400	31,065,050	△ 30,454,650
⑥ 雑収益			
受取利息	8,195	3,875	4,320
雑収益	17,220	109,915	△ 92,695
<b>経常収益計</b>	<b>352,028,106</b>	<b>213,137,997</b>	<b>138,890,109</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
① 事業費	349,237,085	210,393,327	138,843,758
役員報酬	2,469,011	2,283,396	185,615
給料手当	64,218,336	43,976,460	20,241,876
臨時雇賃金	17,901,814	13,814,796	4,087,018
退職給付費用	476,082	553,546	△ 77,464
福利厚生費	20,148,767	13,824,987	6,323,780
広告宣伝費	973,770	201,850	771,920
会議費	5,210,616	2,800,165	2,410,451
旅費交通費	25,605,539	12,952,327	12,653,212
通信運搬費	4,716,674	2,454,738	2,261,936
什器備品費	526,157	1,870,239	△ 1,344,082
減価償却費	671,739	157,355	514,384
建物付属設備減価償却費	332,297	14,853	317,444
什器備品減価償却費	152,199	50,158	102,041
ソフトウェア減価償却費	187,243	92,344	94,899
消耗品費	5,471,547	3,931,905	1,539,642
修繕費	7,236	0	7,236
印刷製本費	6,348,987	4,897,595	1,451,392
光熱水費	1,562,965	2,627,252	△ 1,064,287
賃借料	11,674,028	4,129,301	7,544,727
会費	339,875	133,350	206,525
諸謝金	4,131,717	404,716	3,727,001
記念品費	2,301,176	2,821,307	△ 520,131
支払負担金	64,292,798	54,214,619	10,078,179
手数料	259,336	175,764	83,572
委託費	101,701,778	36,260,354	65,441,424
租税公課	695,165	1,283,779	△ 588,614
保険料	418,650	317,750	100,900
賞与引当金繰入額	4,595,292	3,212,041	1,383,251
雑費	2,518,030	1,093,735	1,424,295

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費	4,045,355	4,131,743	△ 86,388
役 員 報 酬	274,334	253,710	20,624
給 料 手 当	1,528,206	1,704,087	△ 175,881
臨 時 雇 賃 金	240,261	0	240,261
退 職 給 付 費 用	30,388	29,134	1,254
福 利 厚 生 費	862,328	841,845	20,483
広 告 宣 伝 費	0	3,150	△ 3,150
会 議 費	6,041	15,914	△ 9,873
旅 費 交 通 費	218,357	175,867	42,490
通 信 運 搬 費	37,545	26,974	10,571
什 器 備 品 費	3,324	29,515	△ 26,191
減 価 償 却 費	10,903	4,867	6,036
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費	6,781	459	6,322
什 器 備 品 減 価 償 却 費	1,126	1,552	△ 426
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	2,996	2,856	140
消 耗 品 費	24,725	21,901	2,824
修 繕 費	0	0	0
印 刷 製 本 費	66,860	60,957	5,903
光 熱 水 費	18,308	71,482	△ 53,174
賃 借 場 料 費	133,719	118,007	15,712
会 場 謝 金 費	735	1,575	△ 840
諸 記 念 品 費	3,844	1,559	2,285
支 払 負 担 金 費	3,881	0	3,881
手 数 料	222,943	321,998	△ 99,055
委 託 費	4,866	5,426	△ 560
租 税 公 課	51,376	121,987	△ 70,611
賞 与 引 当 金 繰 入 額	12,876	38,622	△ 25,746
雑 費	284,540	276,295	8,245
	4,995	6,871	△ 1,876
経 常 費 用 計	353,282,440	214,525,070	138,757,370
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△ 1,254,334	△ 1,387,073	132,739
基 本 財 産 評 価 損 益 等	0	0	0
特 定 資 産 評 価 損 益 等	0	0	0
投 資 有 価 証 券 評 価 損 益 等	0	0	0
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 1,254,334	△ 1,387,073	132,739
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
除 却 損 失	0	706,883	△ 706,883
建 物 付 属 設 備 除 却 損	0	589,673	△ 589,673
什 器 備 品 除 却 損	0	117,210	△ 117,210
経 常 外 費 用 計	0	706,883	△ 706,883
当 期 経 常 外 増 減 額	0	△ 706,883	706,883
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,254,334	△ 2,093,956	839,622
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	28,727,216	30,821,172	△ 2,093,956
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	27,472,882	28,727,216	△ 1,254,334
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	796,000,000	796,000,000	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	796,000,000	796,000,000	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	823,472,882	824,727,216	△ 1,254,334

## (2) 正味財産増減計算書内訳書

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
<b>(1) 経常収益</b>					
① 基本財産運用益	6,063,063	0	6,063,063	0	12,126,126
基本財産受取利息	6,063,063	0	6,063,063	0	12,126,126
② 受取会費	73,685,000	0	0	0	73,685,000
受取賛助会員会費	73,685,000	0	0	0	73,685,000
③ 事業収益	4,332,934	160,000	0	0	4,492,934
広告料収益	3,171,145	160,000	0	0	3,331,145
事業収益	190,254	0	0	0	190,254
販売収益	971,535	0	0	0	971,535
④ 受取負担金	253,153,958	6,485,575	1,448,698	0	261,088,231
市人件費負担金	64,841,635	6,144,575	1,448,698	0	72,434,908
市事業費負担金	186,196,213	0	0	0	186,196,213
参加者負担等負担金	2,116,110	341,000	0	0	2,457,110
⑤ 受託事業収益	610,400	0	0	0	610,400
受託事業収益	610,400	0	0	0	610,400
⑥ 雑収益	17,220	0	8,195	0	25,415
受取利息	0	0	8,195	0	8,195
雑収益	17,220	0	0	0	17,220
<b>経常収益計</b>	<b>337,862,575</b>	<b>6,645,575</b>	<b>7,519,956</b>	<b>0</b>	<b>352,028,106</b>
<b>(2) 経常費用</b>					
① 事業費	337,948,625	11,288,460	0	0	349,237,085
役員報酬	2,194,677	274,334	0	0	2,469,011
給料手当	61,103,567	3,114,769	0	0	64,218,336
臨時雇賃金	17,421,291	480,523	0	0	17,901,814
退職給付費用	400,111	75,971	0	0	476,082
福利厚生費	18,943,635	1,205,132	0	0	20,148,767
広告宣伝費	973,770	0	0	0	973,770
会議費	3,767,456	1,443,160	0	0	5,210,616
旅費交通費	25,251,466	354,073	0	0	25,605,539
通信運搬費	4,477,268	239,406	0	0	4,716,674
什器備品費	517,845	8,312	0	0	526,157
減価償却費	644,478	27,261	0	0	671,739
建物附属設備減価償却費	315,342	16,955	0	0	332,297
什器備品減価償却費	149,384	2,815	0	0	152,199
ソフトウェア減価償却費	179,752	7,491	0	0	187,243
消耗品費	5,409,735	61,812	0	0	5,471,547
修繕費	7,236	0	0	0	7,236
印刷製本費	6,181,836	167,151	0	0	6,348,987
光熱水費	1,517,195	45,770	0	0	1,562,965
賃借料	11,339,730	334,298	0	0	11,674,028
会場費	338,038	1,837	0	0	339,875
諸謝金	3,960,106	171,611	0	0	4,131,717
記念品費	2,291,473	9,703	0	0	2,301,176
支払負担金	61,719,441	2,573,357	0	0	64,292,798
手数料	247,170	12,166	0	0	259,336
委託費	101,443,737	258,041	0	0	101,701,778
租税公課	662,973	32,192	0	0	695,165
保険料	418,650	0	0	0	418,650
賞与引当金繰入額	4,250,200	345,092	0	0	4,595,292
雑費	2,465,541	52,489	0	0	2,518,030

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引	合計
② 管理費	0	0	4,045,355	0	4,045,355
役員報酬	0	0	274,334	0	274,334
給料手当	0	0	1,528,206	0	1,528,206
臨時雇賃金	0	0	240,261	0	240,261
退職給付費用	0	0	30,388	0	30,388
福利厚生費	0	0	862,328	0	862,328
会議費	0	0	6,041	0	6,041
旅費交通費	0	0	218,357	0	218,357
通信運搬費	0	0	37,545	0	37,545
什器備品費	0	0	3,324	0	3,324
減価償却費	0	0	10,903	0	10,903
建物付属設備減価償却費	0	0	6,781	0	6,781
什器備品減価償却費	0	0	1,126	0	1,126
ソフトウェア減価償却費	0	0	2,996	0	2,996
消耗品費	0	0	24,725	0	24,725
印刷製本費	0	0	66,860	0	66,860
光熱水費	0	0	18,308	0	18,308
賃借料	0	0	133,719	0	133,719
会場費	0	0	735	0	735
諸謝金	0	0	3,844	0	3,844
記念品費	0	0	3,881	0	3,881
支払負担金	0	0	222,943	0	222,943
手数料	0	0	4,866	0	4,866
委託費	0	0	51,376	0	51,376
租税公課	0	0	12,876	0	12,876
賞与引当金繰入額	0	0	284,540	0	284,540
雑費	0	0	4,995	0	4,995
経常費用計	337,948,625	11,288,460	4,045,355	0	353,282,440
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 86,050	△ 4,642,885	3,474,601	0	△ 1,254,334
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 86,050	△ 4,642,885	3,474,601	0	△ 1,254,334
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(1) 経常外費用					
除却損失	0	0	0	0	0
建物付属設備除却損	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替高	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 86,050	△ 4,642,885	3,474,601	0	△ 1,254,334
一般正味財産期首残高	16,485,265	△ 3,077,705	15,319,656	0	28,727,216
一般正味財産期末残高	16,399,215	△ 7,720,590	18,794,257	0	27,472,882
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	398,000,000	0	398,000,000	0	796,000,000
指定正味財産期末残高	398,000,000	0	398,000,000	0	796,000,000
III 正味財産期末残高	414,399,215	△ 7,720,590	416,794,257	0	823,472,882

## 4 財務諸表に対する注記

### ア 重要な会計方針

- (ア) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。
- (イ) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (ウ) 固定資産の減価償却の方法  
定額法を採用している。
- (エ) 引当金の計上基準  
① 退職給与引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。  
② 賞与引当金については支給見込額の当期負担分を計上している。
- (オ) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

- イ 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高  
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	29,618,602	0	0	29,618,602
普通預金	361,617	91,875	0	453,492
投資有価証券	766,019,781	0	91,875	765,927,906
小計	796,000,000	91,875	91,875	796,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,110,210	506,470	0	6,616,680
小計	6,110,210	506,470	0	6,616,680
合計	802,110,210	598,345	91,875	802,616,680

- ウ 基本財産及び特定資産の財源等の内訳  
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	29,618,602	( 29,618,602 )	( 0 )	( 0 )
普通預金	453,492	( 453,492 )	( 0 )	( 0 )
投資有価証券	765,927,906	( 765,927,906 )	( 0 )	( 0 )
小計	796,000,000	( 796,000,000 )	( 0 )	( 0 )
特定資産				
退職給付引当資産	6,616,680	( 0 )	( 0 )	( 6,616,680 )
小計	6,616,680	( 0 )	( 0 )	( 6,616,680 )
合計	802,616,680	( 796,000,000 )	( 0 )	( 6,616,680 )

エ 固定資産の取得価額及び当期末残高  
 固定資産の取得価額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建 物 附 属 設 備	3,145,793	354,390	2,791,403
什 器 備 品	2,685,416	1,538,126	1,147,290
ソ フ ト ウ ェ ア	4,517,040	285,439	4,231,601
電 話 加 入 権	907,603	0	907,603
合 計	11,255,852	2,177,955	9,077,897

オ 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
北海道平成18年度第10回公債	140,149,240	144,312,000	4,162,760
北海道平成20年度第16回公債	149,910,000	159,000,000	9,090,000
兵庫県平成23年度第1回15年公債	199,941,333	223,100,000	23,158,667
兵庫県平成25年度第3回12年公債	99,908,333	100,460,000	551,667
第137回福岡北九州高速道路公社債	100,000,000	99,820,000	△ 180,000
第151回利付国債	76,019,000	76,594,750	575,750
合 計	765,927,906	803,286,750	37,358,844

カ 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当期末 残 高	貸借対照表 上の記載区 分
受取負担金						
受 取 負 担 金	福岡市	0	258,631,121	258,631,121	0	
合 計		0	258,631,121	258,631,121	0	

キ 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	12,126,126
合 計	12,126,126

5 財産目録（平成27年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金			
		西日本シティ銀行天神支店	運転資金	43,237,968	
		福岡銀行本店福岡市庁内出張所	運転資金	45,366,060	
		ゆうちょ銀行	運転資金	102	
		福岡中央銀行本店営業部	運転資金	4,088,234	
		西日本シティ銀行コンベンション開催資金	運転資金	31,300	
	未収金	広告料等	公益目的事業，収益事業，管理業務	4,440,127	
商品	コンベンションバッグ他	公益目的事業	350,079		
貯蔵品	切手	公益目的事業，収益事業，管理業務	44,598		
前払金	福岡ビル賃貸料（4月分）	公益目的事業	1,487,644		
仮払金	社会保険料（育児休業分）	管理業務	99,878		
流動資産		流動資産	合計	99,145,990	
(固定資産)	基本財産	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	6,420,178
			福岡銀行本店福岡市庁内出張所	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	13,198,424
			福岡中央銀行本店営業部	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	10,000,000
	普通預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	453,492	
			投資有価証券	北海道平成18年度第10回公債	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。
			北海道平成20年度第16回公債	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	149,910,000
			兵庫県平成23年度第1回15年公債	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	199,941,333
			兵庫県平成25年度第3回12年公債	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	99,908,333
			第137回福岡北九州高速道路公社債	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	100,000,000
			第151回利付国債	運用益を公益目的事業，管理業務の財源としている。	76,019,000
	特定資産	退職給付引当資産	西日本シティ銀行天神支店	退職金の財源	6,616,680
	その他 固定資産	建物附属設備 什器備品 ソフトウェア 電話加入権	間仕切工事等	共用財産（事務所内装工事代）	2,791,403
			スライド式収納庫他	共用財産（事務所内備品）	1,147,290
コンベンションデータプログラム			共用財産（事務所内備品）	4,231,601	
電話加入権 回線			共用財産（事務所用）	907,603	
固定資産		固定資産	合計	811,694,577	
流動負債		流動負債	合計	910,840,567	
(流動負債)	未払金	福岡市負担金返還金	公益目的事業，収益事業，管理業務	22,488,879	
		コンベンション開催助成金ほか	公益目的事業，収益事業，管理業務	52,682,490	
	前受金	賛助会費他	公益目的事業，管理業務	40,000	
	預り金	社会保険料，雇用保険，源泉所得税	役職員，臨時職員他	659,804	
賞与引当金	職員	職員10名	4,879,832		
流動負債		流動負債	合計	80,751,005	
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員3名	6,616,680	
固定負債		固定負債	合計	6,616,680	
負債		負債	合計	87,367,685	
正味財産		正味財産	合計	823,472,882	

6 収支計算書(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	最終予算額	決算額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	11,526,000	12,126,126	△ 600,126	基本財産の運用収入
受取会費	72,500,000	73,685,000	△ 1,185,000	賛助会費収入
事業収益	2,649,000	4,492,934	△ 1,843,934	広告料収益等
受取負担金	283,620,000	261,088,231	22,531,769	福岡市負担金等
受託事業収益	622,000	610,400	11,600	受託事業収入
雑収益	40,000	25,415	14,585	受取利息等
経常収益計	370,957,000	352,028,106	18,928,894	
(2) 経常費用				
事業費	363,297,000	349,237,085	14,059,915	各事業費
管理費	7,809,000	4,045,355	3,763,645	人件費、光熱水費等
経常費用計	371,106,000	353,282,440	17,823,560	
当期経常増減額	△ 149,000	△ 1,254,334	1,105,334	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
除却損失	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 149,000	△ 1,254,334	1,105,334	
一般正味財産期首残高	20,069,000	28,727,216	△ 8,658,216	
一般正味財産期末残高	19,920,000	27,472,882	△ 7,552,882	
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	11,526,000	12,126,126	△ 600,126	
一般正味財産への振替額	△ 11,526,000	△ 12,126,126	600,126	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	796,000,000	796,000,000	0	
指定正味財産期末残高	796,000,000	796,000,000	0	
III 正味財産期末残高	815,920,000	823,472,882	△ 7,552,882	

(注) 管理費に計上していた人件費、その他経費のうち、事業の目的のために要する費用については事業費に計上している。

7 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

8 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

## 第3章 平成27年度事業計画

### 1 事業計画

本財団は、観光・コンベンションの振興のため、様々な誘致活動やPR活動を進め、福岡市における観光の国際化・情報化の促進を図り、福岡のイメージアップに努めているところである。

平成27年度は、産学官民一体となった「オール福岡」体制でのMICE推進に向けて設置した、「Meeting Place Fukuoka」が2年目を迎え、新たな観光客・MICEの誘致、リピーターの確保等を推進するとともに、観光・MICE両面で業界の中心となるワンストップ組織として事業を展開する。

#### (1) 観光客の誘致

##### ア 観光プロモーション

アジア諸国からのLCC（格安航空会社）の就航をはじめ、KLMオランダ航空の福岡直行便の就航など、福岡をとりまく人的交流環境は劇的に変化しており、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをにらんだインバウンド2000万人達成に向けて、国、地域や各都市の動向、数年後に実現するアウトバウンドとインバウンド数の逆転などを念頭に置いた取り組みが必要であり、このような機会を着実にとらえ、国内外の観光客等の誘致促進のため、戦略的かつ積極的なプロモーション事業等を実施していく。

##### (ア) 福岡観光プロモーション協議会事業

- ・国内誘致宣伝事業（ツーリズムEXPOジャパン出展、修学旅行の誘致等）
- ・海外誘致宣伝事業（旅行社訪問、国際観光展出展、旅行業者やマスコミ等の招へい等）

##### (イ) 博多祇園山笠宣伝隊派遣事業

##### (ロ) 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業

##### (エ) 交流協定締結の海外団体との交流促進

##### イ 外国クルーズ客船受入事業

増大する外国クルーズ客船寄港に対して、乗船客が福岡及び近郊都市で快適な旅を体験できるよう、観光案内等の充実や歓迎演出の実施等により、福岡への継続的なクルーズ客船寄港に向けた事業を推進する。

##### (ア) クルーズ客船用ウェルカムゲート運営

##### (イ) クルーズ客船用観光マップ等製作

##### (ロ) クルーズ客船受入及びコーディネート事業

##### (エ) クルーズ客船寄港歓迎演出

##### (オ) 多言語ガイド育成研修事業

##### ウ 他団体との連携

九州各都市や福岡都市圏、久留米、柳川の観光団体等との連携による共同誘致事業などを展

開し、エリア間・都市間の回遊性の向上に努める。また、市役所西側ふれあい広場北側緑地を自治体等の小規模イベントに供する際、イベントスペースの管理を行う。

## (2) MICEの誘致及び支援

「Meeting Place Fukuoka」の成果を十分に発揮するため、国内外のMICE市場、特に海外における『福岡』の知名度向上を図るためのマーケティング活動の強化、地元関係団体・産学官民との連携強化によるMICE誘致、国家戦略特区の積極的な活用、ライオンズクラブ国際大会を契機とする福岡のMICE環境向上のプロモーションを行う。

### ア コンベンションの誘致

学会・大会の事務局やキーパーソンなどに対しセールス活動を行う。

#### (ア) コンベンションの誘致活動（地元・首都圏・関西圏等）

(イ) 国際ミーティング・エキスポ（IME）出展

(ウ) 国際会議協会（ICCA）データベース等の分析による誘致案件抽出と海外MICE見本市出展

#### (エ) マーケティングの強化

### イ コンベンションの支援

国内有数のおもてなし都市福岡を実現するため、市内で開催されるコンベンションに対し、事前準備段階から開催に至るまで、様々な支援・サービスを実施する。

#### (ア) 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成

#### (イ) コンベンションサポート制度

・主催者に対する登録企業の紹介・あっせんなどの支援

#### (ウ) その他のコンベンション開催支援

・観光ガイドブック等の提供

・郷土芸能の提供、歓迎看板の設置及び臨時案内所の設置

・国際コンベンション支援語学ボランティア事業

### ウ 他団体との連携

コンベンション関係団体との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、コンベンション誘致に係る情報収集活動や共同誘致活動などを行う。

### エ インセンティブツアーの誘致

インセンティブツアー（企業等が成績優秀社員を海外に招待する報奨旅行）は、ツアーの規模が大きくグレードも高いという特徴があり、地元経済に大きな波及効果をもたらすため、誘致活動を推進する。

(ア) インセンティブツアー誘致活動（韓国、台湾、香港、タイ及びシンガポール等での営業活動）

(イ) インセンティブツアー歓迎事業（福岡空港及び博多港での出迎えや歓迎式典，観光ガイドブック等の提供）

#### オ ライオンズクラブ国際大会準備

平成28年度に開催される大規模国際コンベンション「ライオンズクラブ国際大会」の成功に向け，関係団体と連携し，ホテル・輸送体制・パレードなど各分野での受入準備を推進する。

#### カ ビジネスコーディネート

福岡・九州の産業の強みを活かしたMICE誘致活動を行うとともに，参加者と地元企業とのビジネス交流の機会創出を促進する。

### (3) 福岡の魅力向上

#### ア 観光案内・観光客の利便性向上

来福者のニーズの把握に努めるとともに，観光案内業務のスキルアップを図りながら，来福者が快適に過ごせる受入環境の整備に努める。

(ア) 観光案内所の管理・運営及びネットワーク化

(イ) ホームページの管理運営

(ウ) 観光案内機能の充実強化

- ・福岡市観光案内ボランティアの運営・管理
- ・まち歩きコースの開発・企画・実施
- ・観光サービス業従事者向けスキルアップ研修の企画・運営

(エ) ウェルカムサポーターの運営

#### イ 魅力増進

福岡の有する都市観光の魅力や歴史・文化・祭りなどの観光資源を十分に活用した魅力づくりを推進する。

(ア) 博多どんたくの共催（臨時観光案内所の運営・管理）

(イ) 福岡検定の実施

(ウ) 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催

(エ) 各行事助成金（ふくこいアジア祭り等）

(オ) 福岡おもてなし委員会の運営

(カ) 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営

(キ) 体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」キャンペーンの事務局運営等）

### (4) 広報・宣伝

#### ア 国内外に向けた情報の発信

福岡の観光及びコンベンションに関する最新の情報を提供するため，ホームページの管理運

営や広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行などを行う。

(7) ホームページの管理運営（再掲）

(イ) 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行

イ マスコミへの情報提供

観光・コンベンションに関する情報提供を積極的に行う。

(5) 組織の総合力の強化

ア 賛助会員サービス

会員間相互や当財団との情報交換や会員の意見を事業運営に反映させるための交流会を実施するほか、福岡市で開催される会議・展示会などの情報を網羅した「コンベンションスケジュール」の作成及び提供を行う。

(7) 賛助会員交流会の開催

(イ) 賛助会員名簿の作成・提供

(ウ) 「コンベンションスケジュール」の作成及び提供

イ 観光コンベンション推進事業

観光コンベンションの総合的な調査及び企画に関すること。

(6) 福岡市からの負担金事業（福岡市からの負担金事業を再掲）

ア 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成

イ コンベンション誘致活動

ウ コンベンションサポート事業

エ インセンティブツアー誘致活動

オ 外国クルーズ客船受入事業

カ コンベンションの支援（国際コンベンション支援語学ボランティア事業）

キ 観光案内機能の充実強化

・福岡市観光案内ボランティアの運営・管理

・観光サービス業従事者向けスキルアップ研修の企画・運営

ク 観光案内所の管理・運営及びネットワーク化

ケ 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営

コ 体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」の事務局運営等）

サ ライオンズクラブ国際大会準備

(7) 自主事業（自主事業の主なものを再掲）

ア 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業

イ 福岡観光プロモーション協議会事業

- ウ 観光案内所のネットワーク化
- エ まち歩きコースの開発・企画・実施
- オ イベント情報付観光ガイドブック「トマール・フクオカ」の発行
- カ 博多どんたくの共催
- キ 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催
- ク 福岡おもてなし委員会の運営
- ケ 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行
- コ 賛助会員交流会の開催

(8) 自主財源の内訳

(単位：千円)

科 目	平成27年度 予 算 額(A)	平成26年度 予 算 額(B)	増 減 (A) - (B)
基本財産運用収入	11,020	11,526	△ 506
会 費 収 入	81,880	72,500	9,380
事 業 収 入	5,628	2,649	2,979
広 告 料 収 入	1,260	1,621	△ 361
事 業 収 入	100	250	△ 150
販 売 収 入	4,268	778	3,490
計	98,528	86,675	11,853

## 2 収支予算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

### (1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
基本財産運用益	11,020	11,526	△ 506	基本財産の運用利息
受取会費	81,880	72,500	9,380	賛助会員の会費収入
事業収益	5,628	2,649	2,979	
・ 広告料収入	1,260	1,621	△ 361	
・ 事業収入	100	250	△ 150	
・ 販売収入	4,268	778	3,490	
<b>受取負担金</b>	276,774	283,620	△ 6,846	福岡市からの負担金収入等
・ 人件費等	60,742	67,154	△ 6,412	
・ MICEビューロー運営費	38,000	47,500	△ 9,500	
・ コンベンション開催資金助成金	35,000	35,000	0	
・ 観光案内所経費	29,784	30,665	△ 881	
・ 新しいMICEワンストップ体制の強化	16,720	0	16,720	新規事業
・ ライオンズクラブ国際大会	12,834	5,000	7,834	
・ グループ客船受入事業等	12,809	20,805	△ 7,996	
・ 戦略的情報発信事業	11,692	13,980	△ 2,288	
・ 着地型観光振興事業	9,998	11,597	△ 1,599	
・ まち歩き観光振興事業	7,650	11,114	△ 3,464	
・ 観光プロモーション事業	5,700	8,100	△ 2,400	
・ インセンティブツアー支援事業	5,000	5,000	0	
・ ICCA関連・IMEX出展	3,800	3,800	0	
・ 国内外観光客誘致宣伝事業	3,150	3,500	△ 350	
・ ビジネスコーディネート強化	2,000	0	2,000	新規事業
・ コンベンションサポート事業	1,500	1,500	0	
・ その他事業負担金	17,175	16,405	770	
・ その他(市以外)	3,220	2,500	720	参加者負担金等
<b>受託事業収益</b>	622	622	0	福岡市からの受託収入等
・ 小規模イベントスペース管理	86	86	0	
・ その他受託事業収益	0	0	0	負担金事業への変更
・ その他(市以外)	536	536	0	
<b>雑収益</b>	4	40	△ 36	
<b>経常収益計</b>	375,928	370,957	4,971	

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
(2) 経常費用				
事業費	362,516	363,297	△ 781	直接事業に係る経費
・コンベンション誘致・支援事業費	170,912	148,188	22,724	
・観光客誘致受入事業費	72,795	89,698	△ 16,903	
・人件費等	86,819	87,022	△ 203	
・広報・宣伝事業費	26,405	31,290	△ 4,885	
・調査・企画・開発事業費	5,499	7,013	△ 1,514	
・受託事業費	86	86	0	
管理費	13,574	7,809	5,765	管理的経費
経常費用計	376,090	371,106	4,984	
当期経常増減額	△ 162	△ 149	△ 13	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 162	△ 149	△ 13	
一般正味財産期首残高	19,920	20,069	△ 149	
一般正味財産期末残高	19,758	19,920	△ 162	
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	11,020	11,526	△ 506	
一般正味財産への振替額	△ 11,020	△ 11,526	506	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	796,000	796,000	0	
指定正味財産期末残高	796,000	796,000	0	
III 正味財産期末残高	815,758	815,920	△ 162	

## (2) 収支予算書内訳書

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	5,510	0	5,510	0	11,020
受取会費	81,880	0	0	0	81,880
事業収益	5,458	170	0	0	5,628
受取負担金	255,749	9,032	11,993	0	276,774
受託事業収益	622	0	0	0	622
雑収益	0	0	4	0	4
経常収益計	349,219	9,202	17,507	0	375,928
(2) 経常費用					
事業費	349,415	13,101	0	0	362,516
・コンベンション誘致・支援事業費	170,912	0	0	0	170,912
・観光客誘致受入事業費	72,795	0	0	0	72,795
・人件費等	79,217	7,602	0	0	86,819
・広報・宣伝事業費	26,405	0	0	0	26,405
・調査・企画・開発事業費	0	5,499	0	0	5,499
・受託事業費	86	0	0	0	86
管理費	0	0	13,574	0	13,574
経常費用計	349,415	13,101	13,574	0	376,090
当期経常増減額	△196	△3,899	3,933	0	△162
<b>2 経常外増減の部</b>					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(3) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△196	△3,899	3,933	0	△162
一般正味財産期首残高					19,920
一般正味財産期末残高					19,758
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
投資有価証券受取利息	5,510	0	5,510	0	11,020
一般正味財産への振替額	△5,510	0	△5,510	0	△11,020
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	398,000	0	398,000	0	796,000
指定正味財産期末残高	398,000	0	398,000	0	796,000
<b>III 正味財産期末残高</b>					815,758